

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本大学	個人・グループ名	中村 優志	作品名	CD ラック
-----	------	----------	-------	-----	--------

1. 製作の動機・目的

音楽が好きで毎年 10~20 枚ずつ CD を購入している。増えた CD を置くところがなくなってきたため CD ラックを購入しようとしたものの、大きさが不都合なものや、使いづらそうなものしかなかった。そこで今回、自分の求める大きさでかつ使いやすい CD ラックを製作した。

2. 利用方法

CD だけでなく、新書や文庫本等も収納できる。取り出すときは CD ケースの端に指をかけ、手前に引くとケースが回転し簡単に取り出せる。

3. 工夫した点



図 1



図 2

図 1 のように各段を斜めにし、図 2 のように CD ケースの端が余るように設計することで、各段で CD ケースの対角線の長さ以上の距離を取ることができるため、CD ケースを回転させて取り出すことができる。また、強度を確保しつつ、できるだけ大きな板を使わず「スカスカ」にすることで圧迫感をなくした。

4. 製作において身についた技能

CD を置く板は全て通しほぞで、かつ角度の関係で角のみ盤は適さないため、のみを用いて 12 箇所穴をあけた。数が多いため効率を良くするために強めにのみを打ち込んでいたが、結果木材が割れてしまった。今までのみを使った経験はほとんどなかったため力加減が上手くいかなかったが、次第に慣れていき、終盤では早く綺麗に仕上げることができるようになった。

また、角度をつけたことで組接ぎを斜めに作る必要が出たため、板を斜めに切り出したり、斜めに溝をほったりと、今まででは考えたこともなかった作業をし、上手く噛みあわせることができた。